

地域密着型金融の取組み状況(平成21年4月～平成22年3月)

当金庫は、地域密着型金融を推進し、その具体的取組みについてホームページに公表してまいりました。平成21年度も引き続き積極的に取り組んでおり、以下の大項目についてその取組み状況を公表します。

項 目	<p>【大項目】 1 . ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化</p> <p>【小項目】 (3) 事業再生支援</p>
タイトル	地域力連携拠点事業の経営相談等利用企業に対する市制度融資利子補給率の優遇
動機(経緯)	地域力連携拠点事業は、自治体・商工会議所等との連携を標榜したスタートした経緯があり、制度融資と拠点利用の相乗効果による地元企業に対する資金供給円滑化と経営指導・相談機能の発揮を目的としました。
取組み内容	市の制度融資については、中小企業金融円滑化の観点から、中小企業のニーズを取扱条件等に反映できるよう市と金融機関が意見交換を行っています。その中で、市との連携策として市が1%の利子補給をしている制度融資について、拠点の利用者に対しては拠点発行の利用確認書によりさらに0.2%上乘せした1.2%の利子補給をうけられるようにしました。
成果(効果)	<p>【相手方にとっての成果】</p> <p>拠点の経営相談・経営支援機能の利用と利子補給の両面でプラスとなりました。</p> <p>【当金庫にとっての成果】</p> <p>取扱実績は合計3件、実行額90百万円でした。</p>
22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】</p> <p>小規模ながら、取組み自体は地域力連携拠点事業と融資とのリンクという意味で実効性のある取組みだったと考えます。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>拠点事業終了後も本件のような「つなぐ力」を発揮した他機関との連携による資金供給への取組みが重要と認識しています。</p>

項目	<p>【大項目】 3 . 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献</p> <p>【小項目】 (1) 地域全体の活性化、持続可能な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み</p>
タイトル	地域力連携拠点事業への取組み
動機（経緯）	<p>1 . 経済産業省の委託を受けて地域力連携拠点事業を実施し、当金庫営業区域内の中小企業の経営力向上、創業・再チャレンジ、事業承継を支援することにより、中小企業が中長期的に発展するための経営基盤の強化を図る。</p> <p>2 . 本件事業の実施により、当金庫の重要課題である課題解決型金融の強化を図り、地域経済の活性化・再生に貢献する。</p> <p>3 . 本件事業の実施を契機として、地域の中小企業支援機関・外部の専門家・地方自治体等の連携を強化しながら、地域社会から信頼される持続的な経営相談組織の構築を目指して経営相談機能の拡充・強化を図る。</p>
取組み内容	<p>地域力連携拠点に配置されている応援コーディネーターが中心となり、下記の取組みを行いました。</p> <p>1 . 経営相談の実施 お客様のご来店および応援コーディネーターの訪問による相談を受け付けました。</p> <p>(1) 窓口相談 当金庫の本店内に相談窓口設置。中小企業の相談を受付。</p> <p>(2) 電話相談 応援コーディネーターが、直接電話にて相談を受付。</p> <p>(3) 巡回相談 支援対象地域内の各地にて巡回相談会を開催。</p> <p>2 . セミナー等の開催 経営に関するセミナー等の開催を通じて有益情報の提供をいたしました。</p> <p>3 . 外部支援機関、専門家との連携 外部の中小企業支援機関及び専門家（中小企業診断士等）との連携により、高度かつ専門的な相談対応、支援活動が実施できました。</p>
成果（効果）	<p>【相手方にとっての成果】</p> <p>地域特性を活かした案件の発掘を重点事業と位置付け、「地域資源活用」「農商工等連携」の支援を積極的に実施しました。</p> <p>以下 3 件の認定、採択に結びつきました。</p> <p>「農商工連携」 認定 1 件 「北海道農商工連携ファンド」 採択 1 件 「北海道中小企業応援ファンド(地域資源活用型)」 採択 1 件</p> <p>【当金庫にとっての成果】</p> <p>1 . 経営相談 80 社延べ 143 件の相談に対応いたしました。</p>

	<p>2 . セミナー</p> <p>(1)「農商工連携セミナー」 参加者 41 名</p> <p>(2)「事業承継セミナー」～知って安心！事業の継ぎ方、継がせ方～ 参加者 42 名</p> <p>(3)「ITの新しいかたち ” SaaS ” 無料体験セミナー」 参加者 9 名</p> <p>(4)「経済混乱期の経営」 ～ものづくりに学ぶ 生き残る中小企業とは～ 参加者 98 名</p> <p>3 . 外部専門家の派遣 相談先のうち 9 社に対して IT コーディネーター、中小企業診断士等を延べ 32 日間派遣いたしました。</p>
<p>22 年 3 月までの 取組み状況に対 する評価及び今 後の課題</p>	<p>【評価】 巡回相談会やセミナーの開催を通じて事業の積極的な活用を P R、中小企業診断士や IT コーディネーターなどの専門家が身近にいない地域において、経営の相談相手として専門家を紹介することで、より高度な経営相談機能を提供することができました。</p> <p>【今後の課題】 本件にて構築された中小企業支援団体等との良好なネットワークを活用して、地域特性を活かした各種支援を実施していく。</p>

項 目	<p>【大項目】3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献</p> <p>【小項目】(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供</p>
タイトル	岩見沢 PFI (PPP) 事業の勉強会とセミナー及び出前セミナーの開催
動機 (経緯)	<p>(1) PFI (PPP) 事業に対する認識を高め、継続的に勉強会、講演会を実施することで岩見沢市における本事業の可能性を探る。</p> <p>(2) 経営情報や生活情報等を地域企業や地域住民に還元する。</p> <p>(3) 当金庫職員の知識、ノウハウを地域社会からの要望に応え提供する。</p>
取り組み内容	<p>(1) 岩見沢 PFI (PPP) 事業の勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 21 年 6 月 26 日 「地域経済活性化における PFI 事業の役割」を演題として講演会を実施いたしました。 ・平成 22 年 3 月 19 日 「地方行財政動向と PFI などについて」を演題として講演会を実施いたしました。 <p>(2) 個人向けセミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年を迎え、これからの金融市場の動きが注目されるなか、「H22 年これからの株・為替の行方は」を演題として岩見沢市において平成 22 年 1 月 22 日開催いたしました。 <p>(3) 出前セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 21 年 10 月 7 日三笠市ことぶき大学において「信金の活用」をテーマに老人向けに開催いたしました。
成果 (効果)	<p>【相手方にとっての成果】</p> <p>(1) PFI (PPP) 事業に対する認識を高めることができました。</p> <p>(2) リーマンショック後の経済 (株価や為替等) や投資環境の見通し等の情報が得られました。</p> <p>(3) お金に関する相談を身近な信金で対応してくれるという認識、相談してみようという意識が高まりました。</p> <p>【当金庫にとっての成果】</p> <p>(1) 講演会には延 133 名が参加し、勉強会も通算 12 回の開催となりました。</p> <p>(2) 35 名が参加し、地域住民に対して情報等を還元できました。</p> <p>(3) 50 名が参加し、三笠市教育委員会との連携を図ることができました。</p>
22 年 3 月までの取り組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】</p> <p>(1) 中心市街地活性化に取り組む事業者やグループへの助言・支援を行うことができました。</p> <p>(2) 地域金融機関として情報発信ができました。</p> <p>(3) 高齢者に対する相談支援としての当金庫役割等が理解されました。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>(1) 平成 21 年 4 月には「岩見沢市 PFI 導入基本方針」が制定され、PFI 事業導入の環境が整備されつつあり、具体的な事業化が課題である。</p> <p>(2) 情報発信の回数の増加。</p> <p>(3) 内部講師の育成と他の市町村の関係機関との連携。</p>